

大分県報

平成二十九年
号外（六〇）
五月十五日

（月曜日）

目次

告示

瀬戸内海環境保全特別措置法による特定施設の設置許可申請……………

大分県告示第三百号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和四十八年法律第百十号）第五条第一項の規定により、次のとおり特定施設の設置の許可申請があつた。
なお、次のとおり当該特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づき事前評価に関する事項を記載した書面を縦覧に供する。
平成二十九年五月十五日

大分県知事 広 瀬 勝 貞

- 一 申請の概要
- 申請者の住所及び名称並びにその代表者の氏名
竹田市大字菅生九百五十三番地
有限会社大地農場
代表取締役 甲 斐 昇一郎
 - 特定事業場の所在地及び名称
竹田市大字戸上四百十三番地九
有限会社大地農場 大地本場
 - 設置される特定施設の種類
水質汚濁防止法施行令（昭和四十六年政令第百八十八号）別表第一第一号の二イ
豚房施設

平成二十九年五月十五日

大分県報号外（告示）

一

種	能	工事着手予定年月日	使用開始予定年月日	汚水等の状態の値					項目	汚水等の一日当たりの量	使用の季節的変動	一日当たりの使用時間	使用時間間隔	工事完成予定年月日	種
				りん含有量	窒素含有量	浮遊物質	化学的酸素要求量	生物化学的酸素要求量							
豚房施設	最大六〇六頭	許可後	平三〇・一二・三一	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	ni/日	単位	連続	平三一・二・一	豚房施設	
			平三一・二・一	一六七	二、〇八三	六、六六七	二、〇八三	四、一六七	七・五〇八・〇	通常の値	通常の値	二四時間	平三〇・一二・三一		
				二〇四	二、一一八	六、六八〇	二、一一八	四、二三六	七・五〇八・〇	最大の値	最大の値				

汚水等の一日当たりの量	使用の季節的変動	一日当たりの使用時間	使用時間間隔	使用開始予定年月日	工事完成予定年月日	工事着手予定年月日	能力	種類	汚水等の状態の値						汚水等の一日当たりの量		使用の季節的変動	一日当たりの使用時間	使用時間間隔
									りん含有量	窒素含有量	浮遊物質	化学的酸素要求量	生物化学的酸素要求量	水素イオン濃度	項目	単位			
通常	なし	二四時間	連続	平三〇・一二・三一	平三〇・一二・三一	許可後	最大一、二〇〇頭	豚房施設	一六七	二、〇八三	六、六六七	二、〇八三	四、一六七	七・五〇八・〇	通常	最大	なし	二四時間	連続
最大									二〇四	二、一一八	六、六八〇	二、一一八	四、二三六	七・五〇八・〇	最大				

汚水等の		項目	汚水等の一日当たりの量	使用の季節的変動	一日当たりの使用時間	使用時間間隔	使用開始予定年月日	工事完成予定年月日	工事着手予定年月日	能力	種類	汚水等の状態の値						項目	汚水等の一日当たりの量	使用の季節的変動	一日当たりの使用時間	使用時間間隔
生物化学的酸素要求量	水素イオン濃度											単位	m ³ /日	単位	mg/l	mg/l	mg/l					
一四、二八六	七・五〇八・〇	通常	一八・五	なし	二四時間	連続	平三〇・一二・三一	平三〇・一二・三一	許可後	最大四四〇頭	豚房施設	一六七	二、〇八三	六、六六七	二、〇八三	四、一六六	七・五〇八・〇	通常	二八・八			
一四、三二四	七・五〇八・〇	最大	一八・九									二〇四	二、一一八	六、六八〇	二、一一八	四、二三六	七・五〇八・〇	最大	二九・五			

汚染状態の値	化学的酸素要求量	浮遊物質	窒素含有量	りん含有量	汚水等の一日当たりの量		項目	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	汚染状態の値	種	能	使用の季節的変動	一日当たりの使用時間	使用時間間隔	使用開始予定年月日	工事完成予定年月日	工事着手予定年月日	力	種	汚染状態の値					
					単位	m ³ /日																単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
					通常	最大	通常	最大				豚房施設	最大三、六〇〇頭	なし	二四時間	連続	平三一・二・一	平三〇・一二・三一	許可後				七、一四三	七、一九二	三二、〇七一	二、八五七	二、五〇〇
					通常	最大	通常	最大				豚房施設	最大三、六〇〇頭	なし	二四時間	連続	平三一・二・一	平三〇・一二・三一	許可後				七、一四三	七、一九二	三二、〇七一	二、八五七	二、五〇〇

汚水等の処理の方法	種	処	能	構	汚水等の一日当たりの量		項目	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質	窒素含有量	りん含有量	汚染状態の値	種	能	使用の季節的変動	一日当たりの使用時間	使用時間間隔	使用開始予定年月日	工事完成予定年月日	工事着手予定年月日	力	種					
					単位	m ³ /日																			単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
4 汚水等の処理の方法					通常	最大	通常	最大							豚房施設	最大三、六〇〇頭	なし	二四時間	連続	平三一・二・一	平三〇・一二・三一	許可後			七、一四三	七、一九二	三二、〇七一	二、八五七	二、五〇〇
4 汚水等の処理の方法					通常	最大	通常	最大							豚房施設	最大三、六〇〇頭	なし	二四時間	連続	平三一・二・一	平三〇・一二・三一	許可後			七、一四三	七、一九二	三二、〇七一	二、八五七	二、五〇〇

汚水の等	項目			汚水等の一日当たりの量		使用の季節的変動	一日当たりの使用時間	使用時間間隔	使用開始予定年月日	工事完成予定年月日	工事着手予定年月日	主要寸法												
	化学的酸素要求量	生物化学的酸素要求量	水素イオン濃度	単位	単位																			
	四、二五〇	八、四九九	七・五〇 八・〇	処理前	一一一	なし	二四時間	連続	平三二・二・一	平三〇・一二・三一	許可後	分離原水槽 縦 三・〇m×横 三・〇m×高さ 三・五m 混合原水槽 縦 七・〇m×横 七・〇m×高さ 三・五m 流量調整槽 縦 八・〇m×横 六・〇m×高さ 四・〇m 複合ラグーン 直径 三八・〇m×高さ 四・〇〇〇八・三m 三次処理調整槽 縦 四・五m×横 一一・八m×高さ 四・〇m 四次処理調整槽 縦 二・七m×横 三・〇m×高さ 四・〇m 処理水槽 縦 二・〇m×横 三・〇m×高さ 四・〇m												
	四〇	六〇	五・八〇 八・六	処理後	九三																			
	四、二五一	八、五〇八	七・五〇 八・〇	処理前	一一四																			
	六〇	八〇	五・八〇 八・六	処理後	九六																			
1 事前評価に関する書面の縦覧期間及び縦覧場所	汚水等の状態の値							一日当たりの排出水量	排水口名	汚水の状態の値														
	アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	大腸菌群数	りん含有量	窒素含有量	浮遊物質	化学的酸素要求量	生物化学的酸素要求量	水素イオン濃度	項目	単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
	六五	三、〇〇〇以下	八	六五	四〇	四〇	六〇	五・八〇八・六	通常	単位	九三	二、二六四	一、二四四	二、二六四	一七、四四九	六五	八	六五	二、二七七	四〇	六五	一七、四四九	六〇	
	六五	三、〇〇〇以下	一六	六五	六〇	六〇	八〇	五・八〇八・六	最大	単位	九六	二、二七七	一、二六四	二、二七七	一七、四四九	六五	一六	六五	二、二七七	六〇	六五	一七、四四九	六〇	
No.1排水口																								

2

平成二十九年五月十五日から同年六月五日まで
縦覧場所
大分県生活環境部環境保全課及び竹田市役所

平成二十九年五月十五日

大分県報号外(告示)

五